

岩手県感染症週報

平成23年第30週(7月25日～7月31日)

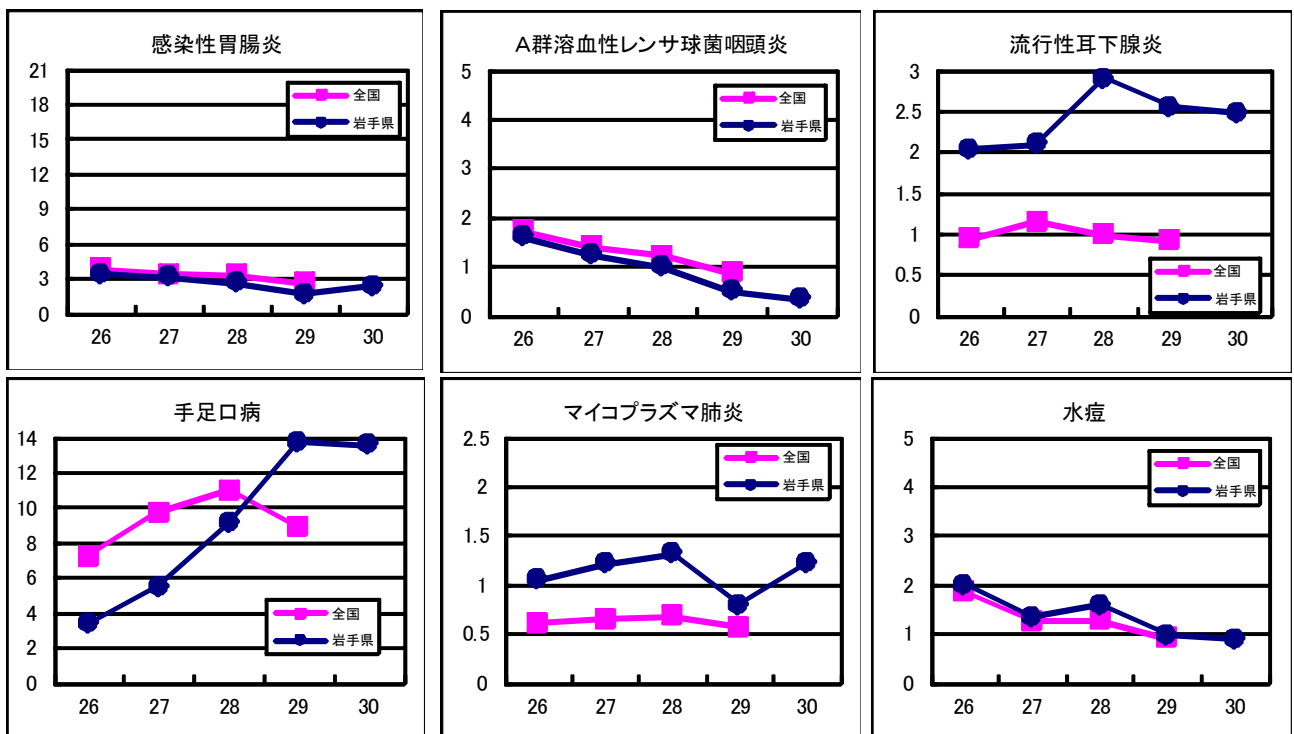
岩手県感染症情報センター

第30週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が5例ありました。
- 3 類感染症
 - ・腸管出血性大腸菌感染症は、15例の報告がありました。14例が大腸菌026、1例が大腸菌0157によるものです。本疾患は避難所においても注意が必要であり、食品の衛生的な取扱いによる食中毒予防の徹底とともに、流水と石けんを用いた手洗いの励行が重要です。水が使用できない場合にはアルコール手指消毒剤が有効です。
- 4 類感染症 ・デング熱の患者の報告が1例ありました。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・アメーバ赤痢の患者の報告が1例ありました。
 - ・麻疹(はしか)の予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象の方(1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方)には早めの接種が勧められます。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・震災の影響で、大船渡地区の一部定点医療機関からは情報が入っていません。
 - ・手足口病は、4週連続で県内の定点あたり患者数が警報値(5人)を超えました。全国的には、患者報告数の多かった西日本で減少傾向に、東日本で増加傾向にあります。本疾患は幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の感染症で、通常数日で回復しますが、まれに髄膜炎を起こすことがあるため、頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		26	27	28	29	30		
インフルエンザ	岩手県	0.19	0.17	0.06	0.03	0	→	
	全国	0.1	0.06	0.04	0.03			
RSウイルス感染症	岩手県	0.13	0.05	0.05	0.03	0.1	→	☆
	全国	0.1	0.13	0.17	0.16			
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.1	0.1	0.05	0.2	→	☆
	全国	0.78	0.78	0.84	0.73			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.6	1.23	1	0.5	0.33	→	☆
	全国	1.74	1.4	1.21	0.87			
感染性胃腸炎	岩手県	3.38	3.13	2.65	1.7	2.38	→	☆
	全国	3.79	3.43	3.28	2.65			
水痘	岩手県	2	1.35	1.58	0.98	0.9	→	☆
	全国	1.85	1.27	1.28	0.92			
手足口病	岩手県	3.35	5.48	9.1	13.75	13.58	↗	☆☆☆
	全国	7.19	9.72	10.97	8.89			
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.25	0.25	0.05	0.2	→	☆
	全国	1.04	0.94	0.84	0.45			
突発性発疹	岩手県	0.48	0.68	0.5	0.33	0.58	→	☆
	全国	0.7	0.73	0.71	0.61			
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.03			
ヘルパンギーナ	岩手県	0.93	1.2	1.85	1.8	2.25	→	☆
	全国	2.23	3.41	4.71	4.03			
流行性耳下腺炎	岩手県	2.03	2.1	2.9	2.55	2.48	→	☆☆
	全国	0.94	1.15	0.99	0.92			
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.36	0.76	0.7	0.5			
流行性角結膜炎	岩手県	0.57	0.29	0.29	0.21	0.21	→	☆
	全国	0.83	0.75	0.83	0.7			
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.04	0.02			
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.16	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.05	0.03	0.05			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.05	1.21	1.32	0.79	1.21	↗	☆☆
	全国	0.61	0.65	0.68	0.57			
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01			

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県					全国	
疾病名	(週)	岩手県					全国	
	26	27	28	29	30	累計	29	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	1
	結核	0	3	1	4	5	96	345 16270
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	5	108
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	8	3	15	46	116 1518
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1 12
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1 15
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	36
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	3	1 136
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	11
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	10
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	5
	つつが虫病	0	2	0	0	0	8	0 156
	デング熱	0	0	0	0	1	1	0 48
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	40
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1 34
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	3
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	8	18 377
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	5	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

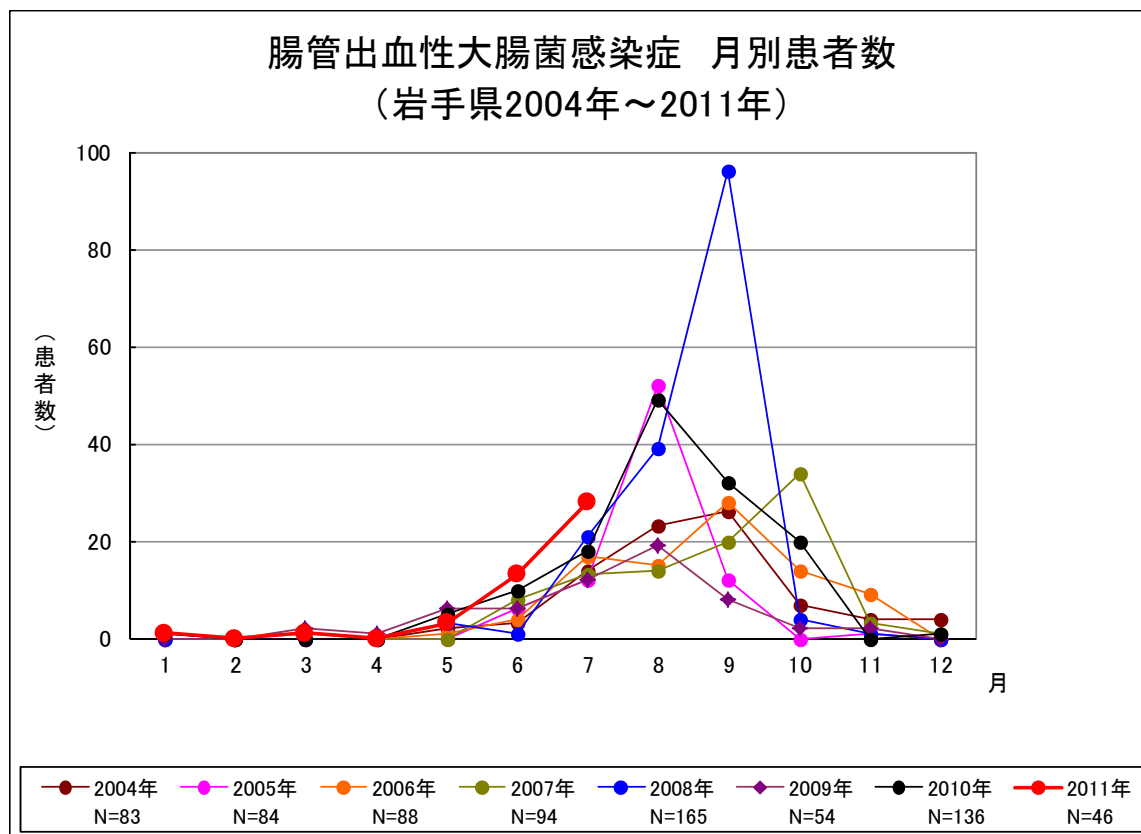
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 26	27	28	29	30	累計 29	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	1	7	8	427
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	147
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	2	1	179
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	66
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	3	133
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	2	10	777
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	38
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	10	411
	破傷風	0	0	0	0	0	2	0	61
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	30
	風しん	0	0	0	0	0	1	2	262
	麻しん	0	0	0	0	0	1	5	369

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第30週には15例の報告がありました。本年はこれまでに計46例が報告されています。性別では男性が25例、女性が21例であり、年齢層別では0～9歳が21例、10～19歳が2例、50～59歳が7例、60歳以上が4例となっています。分離された大腸菌の血清群別では、O157が8例、O26が32例、O111が1例、O121が2例、O103が2例となっています。

毎年、夏季に患者の報告が多いので、食品の保存などの取り扱いには充分注意して食中毒対策を徹底するとともに、二次感染を予防するために手洗いの励行が重要です。



今注目の感染症 (つづき)

被災地で注意すべき感染症

平成23年3月11日の震災から4ヶ月以上経過しましたが、被災地では感染症対策においても、依然厳しい状況が続いています。本年は県内沿岸部においても気温が30℃を超える日が続き、今後、被災地における健康管理は難しい状況が続くと考えられます。本稿では国立感染症研究所が作成した「被災地・避難所における感染症リスクアセスメント」等を参考に、被災地で注意すべき感染症について紹介します。

○食中毒・感染性胃腸炎

気温の上昇とともに、腸管出血性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ、カンピロバクターなどの細菌による食中毒や胃腸炎の発生が多くなります。予防には、トイレ使用後や食事前の流水と石けんを用いた手洗いの励行が重要です。水が使用できない場合にはアルコール手指消毒剤が有効です。また、提供された弁当等の食事は、なるべくすぐに食べていただき、置き置きをできるだけ避け、時間が経ったものは処分することが重要です。吐き気やおう吐、下痢等の症状がある方は、配膳や炊き出しといった食品を取り扱う作業を避けるようにしてください。

○麻しん (はしか)

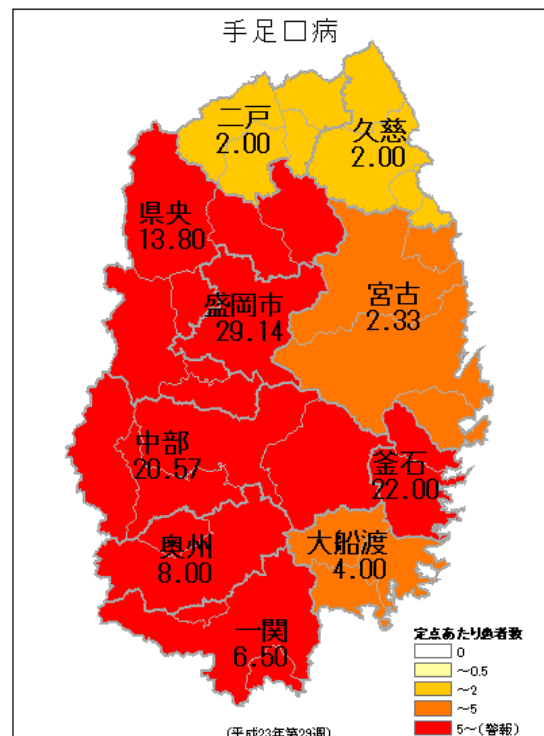
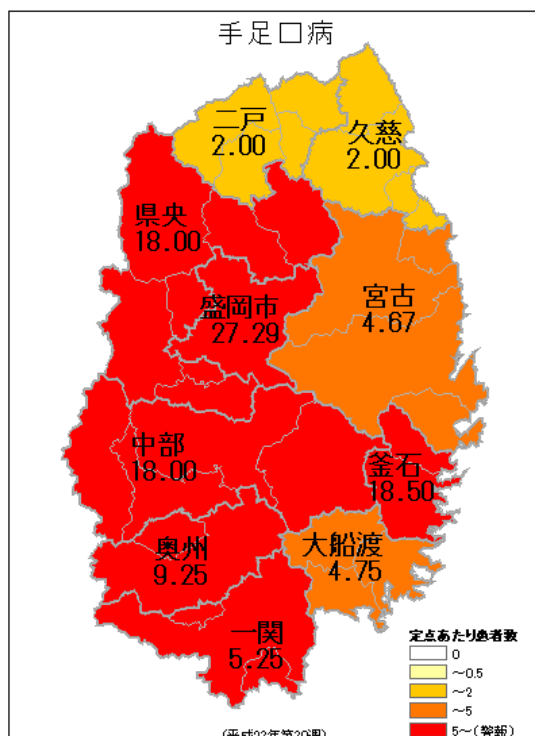
麻しんは、麻しんウイルスによっておこる感染症で、接触感染、飛沫感染、空気感染により感染します。感染力が非常に強く、避難所において問題になることがあります。震災後、県内での発生報告はありませんが、首都圏で報告数が増加しており、人の移動に伴う感染拡大に対する注意が必要です。予防には、ワクチン接種が有効であり、定期接種の対象の方(1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方)には早めの接種をお勧めします。

○破傷風

破傷風は、土壌中の破傷風菌が傷口から体内に入り増殖し、毒素を産生することにより、神経障害を起こします。がれきの撤去作業は傷を負う危険性が高く、傷が原因で破傷風を発症することがあります。復興作業時に、傷を負わないよう注意が必要です。

手足口病

手足口病は、乳幼児を中心に夏期に流行するウイルス性感染症で、主な症状は、口腔粘膜、手、足などに現れる水疱性の発疹です。通常、数日で回復しますが、まれに髄膜炎を起こすことがあるので頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。本年は全国的に患者報告数が多くなっており、本県でも第30週の定点あたり患者数が13.58人と警報値(5人)を大きく超えています。



手足口病、定点あたり患者数、地区別、左：第30週、右：第29週

病原体検出情報

- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス10型を1件検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス16型を6件検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、エコーウイルス3型を1件検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス10型を1件検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

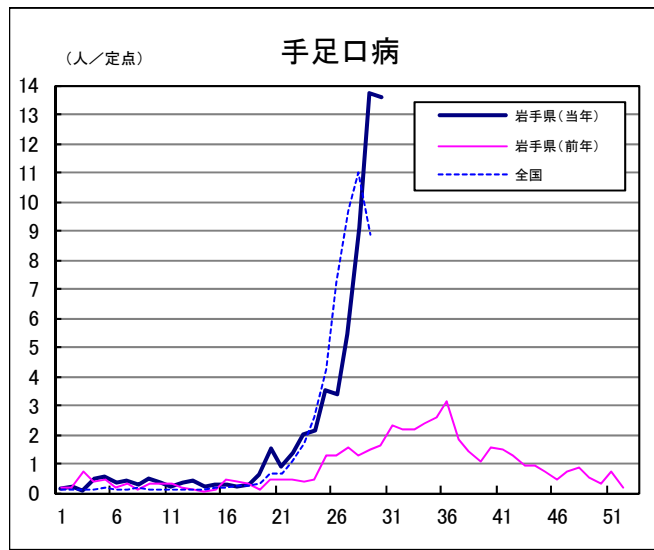
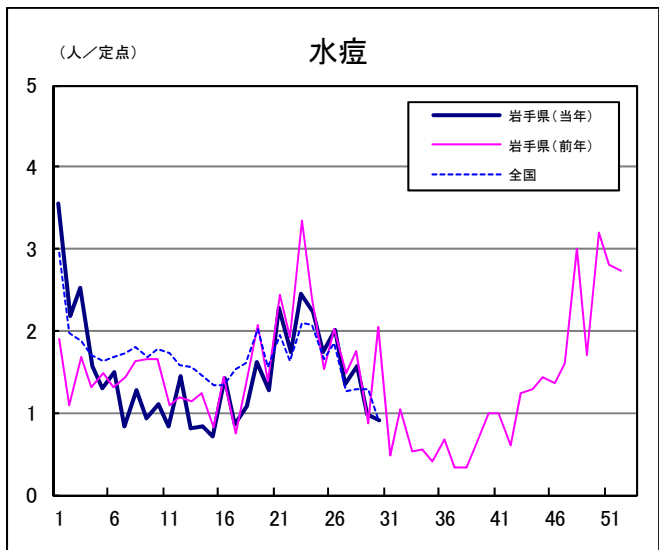
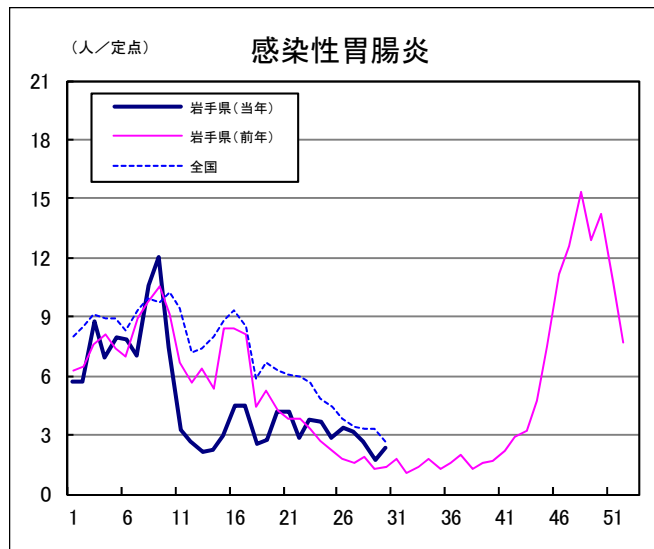
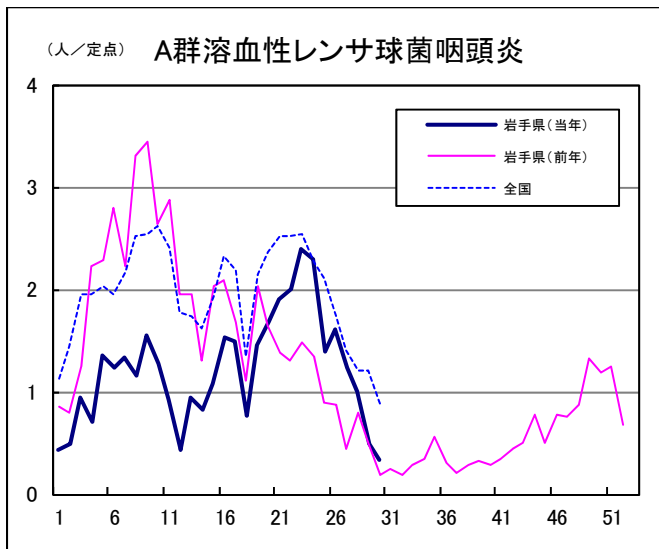
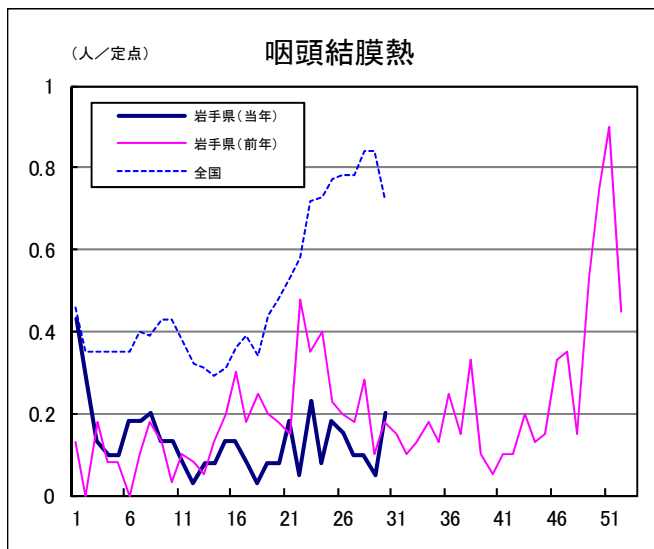
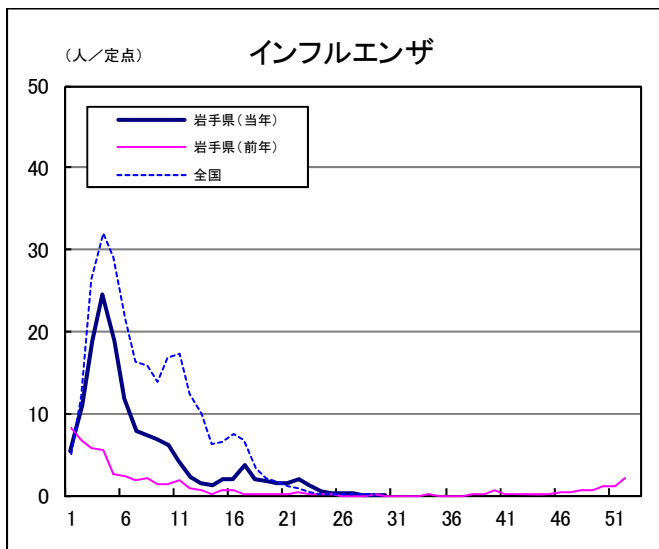
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

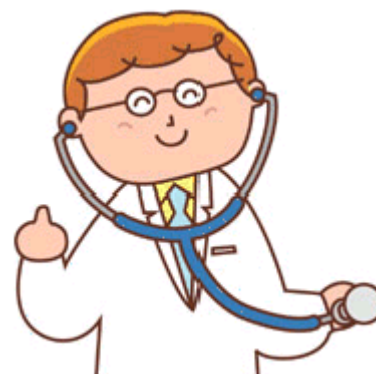
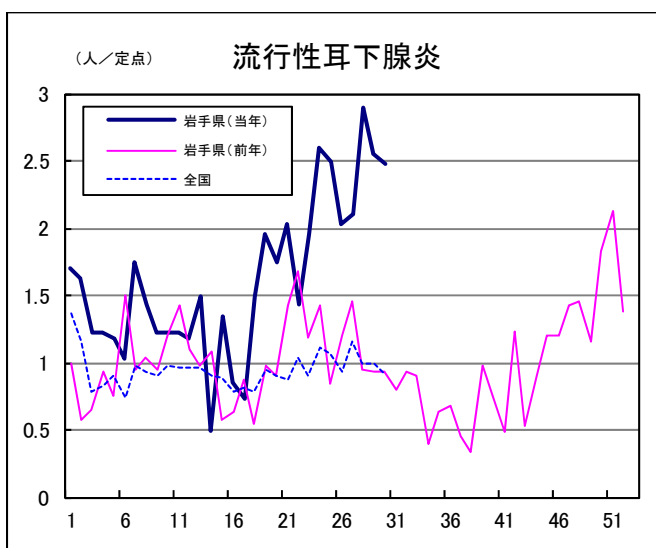
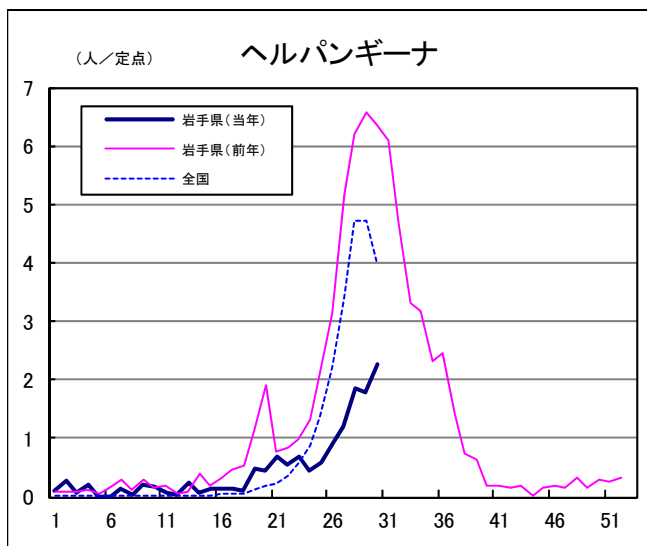
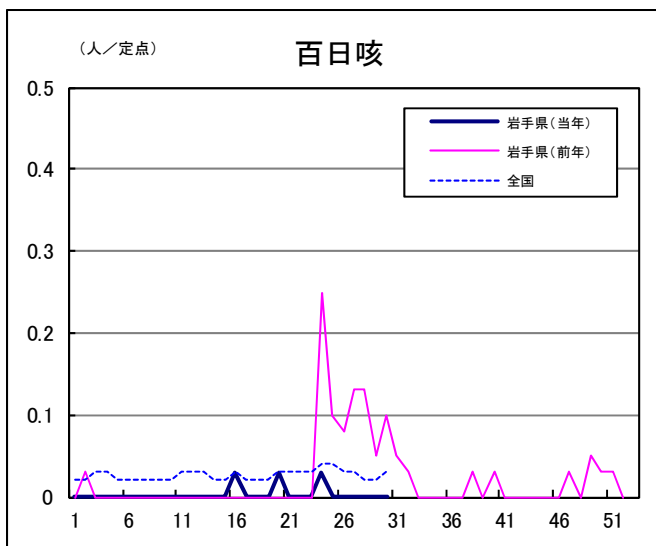
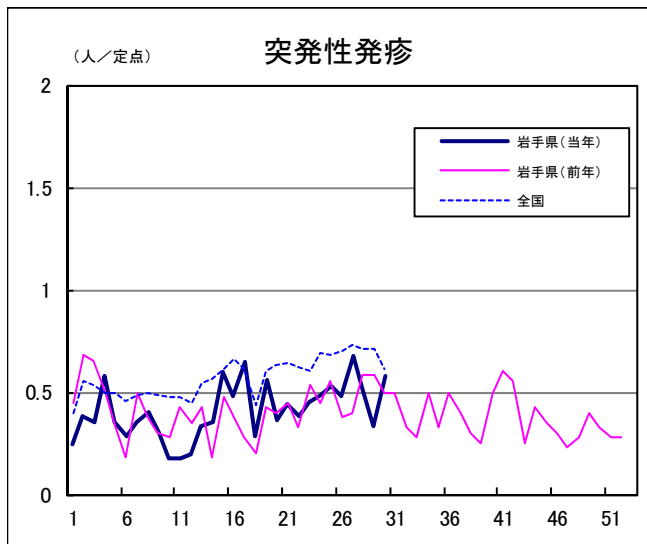
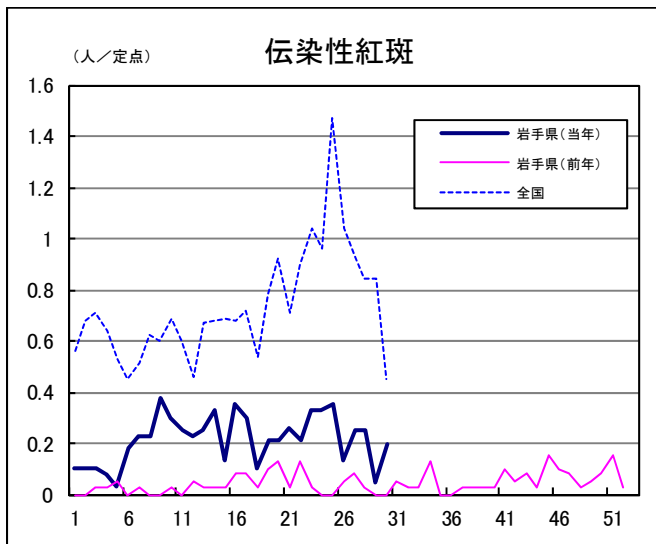
Q & A

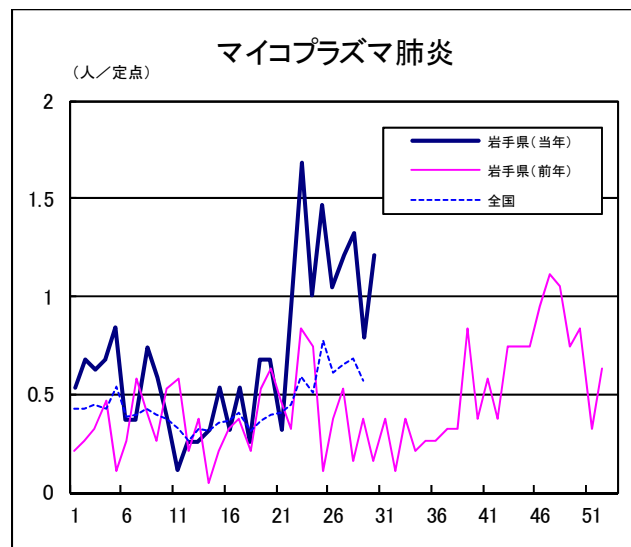
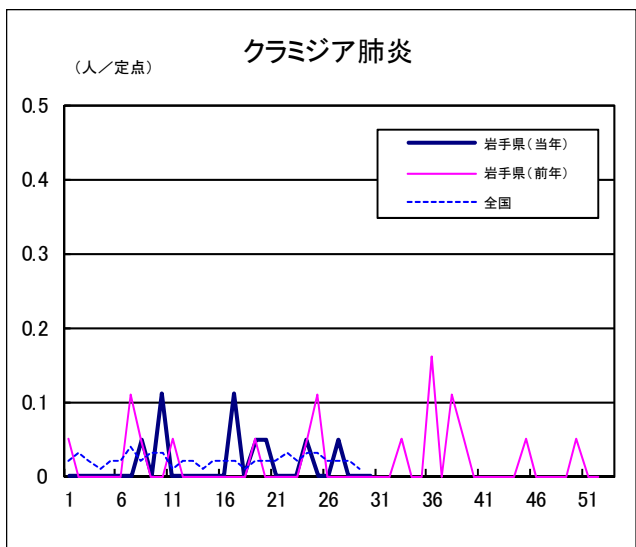
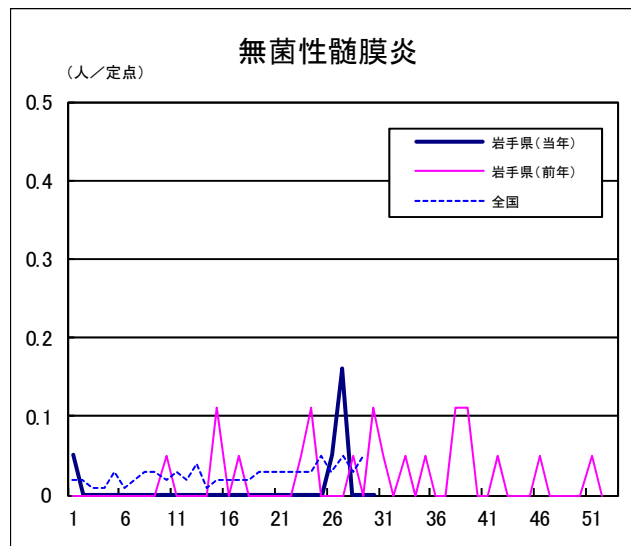
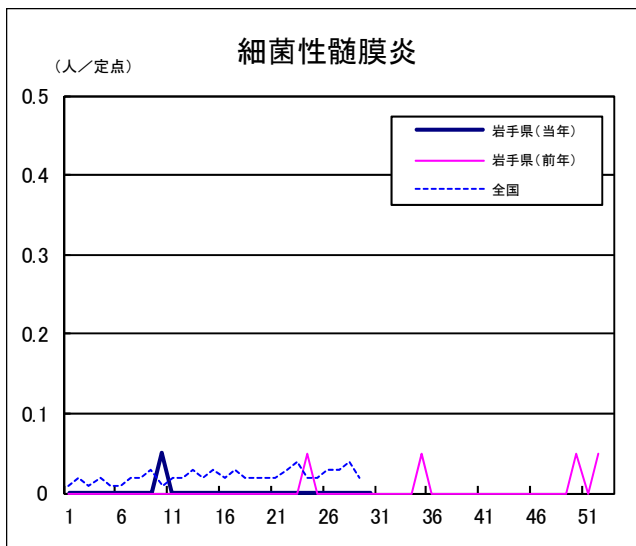
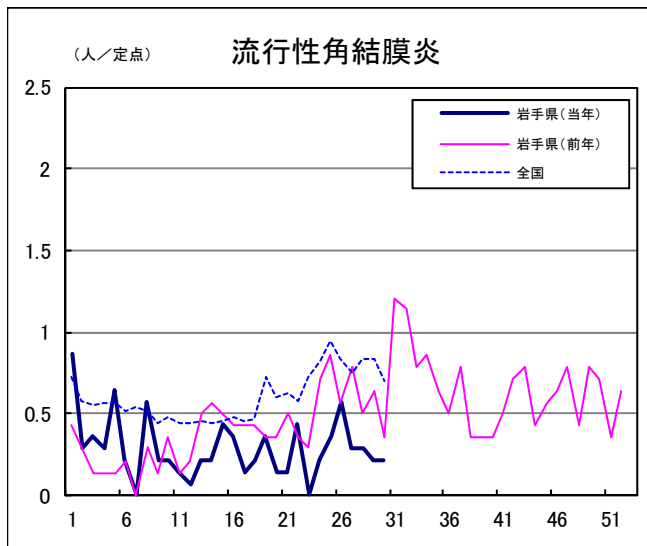
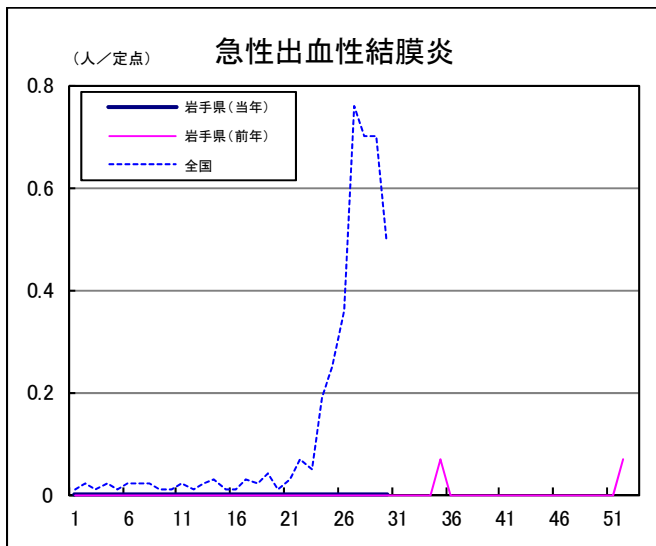
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		64	40	14	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		7	5	2	0
花巻		7	4	1	2
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成23年第30週 平成23年8月5日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>